

事業番号	09 04 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に応える園芸産地育成事業			担当課	部局	農政部	
					課・局・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H25 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	①加工業務用野菜の生産力強化、②オリジナル品種や新品目・新技術などの導入、③実需者等の要望に応える生産・流通体制の整備、④園芸産地が持続的・安定的に供給量・品質を確保できる生産の仕組みづくりを進めることにより、競争力の高い園芸産地づくりを実現する。 【達成指標】ジュース用トマト栽培面積 H27:162ha → H28:164ha 需要に応える新品目・新技術等を導入するモデル地区 H26:13地区 → H28:16地区						
現状（予算編成時）	長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農業産出額の約65%（園芸作物1,973億円／全体3,031億円 H25県）を占める主要部門であり、引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。国内外での競争の激化、食の外部化、需要の多様化などの現状変化に対して、「売れる物をつくる」という視点から、①加工業務用品目の生産力の強化②新品目・新品種・新作型等の早期産地化への取組み③実需者ニーズに対応した生産体制の確立や普及④園芸産地が持続的・安定的に供給量・品質を確保できる生産の仕組みづくりが求められている。						
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、農業者等の主体的な参画と協同を促す。長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱					県民との協働による実施： 実施中
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） ジュース用トマト栽培面積 164ha 需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区16地区						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求)		(予算案)
需要に応える園芸産地育成事業	補助金	加工業務用野菜生産力強化事業、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業（補助先：県域農業団体産地JA、市町村、農業法人、農業者組織団体等）	43,500	45,000			
合計			43,500	45,000		0	
事業コスト	区 分(単位:千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案		
	前年度繰越						
	当初予算	43,500	43,500	45,000			
	補正予算						
	合計(A)	43,500	43,500	45,000	0		
	一般財源	43,500	43,500	45,000			
	県債						
	国庫支出金						
	その他	0	0	0	0		
	決算額(B)	43,500					
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30				
概算人件費	2,477	2,477	2,477	0			
概算事業費(B(A)+C)	45,977	2,477	2,477	0			
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		(指摘事項等)		(対応)			
要求からの主な変更点							